

# 2009年11月23日 産経新聞

## 香川、徳島の高校生 難病治療研究学ぶ

さまざまな分野の科学技術を専門家がわかりやすく解説する「やさしい科学技術セミナー」が、徳島市庄町の徳島大薬学部で開かれ、香川、徳島両県の高校生56人が難病治療の最新研究を学んだ。

科学技術分野で世界的に権威のある国際賞「JAPAN PRIZE（日本国際科学賞）」を実施する国際科学技術財団が主催。同セミナーは全国で行われているが、徳島では初開催。「パーキンソン病は治る！」をテーマに同大大学院の重永

章助教が講師を務めた。重永助教は、パーキンソン病など神経変異性疾患の原因として、タンパク質が正常とは異なる部位へ送られることを挙げ、発生メカニズムと治療法を解説。細胞外部からの刺激に応答し

て元の位置へ戻す「化学合成ペプチド」の開発と将来性を語った。

セミナーは高度な内容を高校生でも理解できるように実演も交えて進められ、参加した生徒らは熱心に講演に聞き入っていた。



JAPAN PRIZE